

平成28年度 北海道小学校長会

第2回理事研修会

研修部 活動報告



研修部の活動について、報告する。

- ・ 第59回北海道小学校長会教育研究小樽大会については、開催地区実行委員会との連携の下、鋭意準備を進めているところです。参加者の集約状況は、6月28日現在、参加期待数を18名上回る、621名の申し込みがあった。改めて、各地区校長会のご理解ご協力に感謝申し上げます。進捗状況や実行委員会からのお願い等については、後ほど理事の井村 文俊校長先生から詳しくお話をします。
- ・ 十勝大会の研究集録「小学校教育 別冊53号」の「分科会参加者の声」「大会印象記」の原稿執筆者については、現在各地区より報告をいただいているところである。
- ・ 教育改革等に関する調査報告書作成については、近日中には全連小からアンケート依頼が来る予定である。夏季休業前に、各地区の研修部長を通して回答依頼をする予定である。その後、回収次第、報告書作成準備にとりかかる。
- ・ 北海道小学校長会のホームページに掲載しています「地区研究活動」については、原稿の提出期限は、平成28年11月28日とまだ先ではあるが、この点を念頭におき、研究を推進していただければと思う。なお、10月下旬に詳しい説明を付けた依頼をさせていただく。ご協力を宜しくお願い申し上げます。
- ・ 平成29年10月12日、13日、佐賀県佐賀市を会場に開催されます全連小佐賀大会の大綱が届く。北海道は2つの分科会で発表が当たっている。

◇研究領域「Ⅱ 教育課程」の第4分科会「知性・創造性」,
視点①『『新たな知を拓く』教育課程の工夫』,

◇研究領域「Ⅳ 危機管理」の第10分科会「危機対応」,
視点①「いじめ・不登校等への適切な対応と体制づくり」

第4分科会「知性・創造性」は、第1ブロックから発表地区が決まります。

第10分科会「危機対応」は、第4ブロックから日高地区が発表することに決まっている。

以上、研修部からの活動報告とする。